

道徳だより

令和5年 5月
七塚小学校
校長 稲垣 優子
3年生担当

今回は、3年生の授業の様子についてお伝えします。

主題名：ほんとうはできる

教材名：「きいてるかい オルタ」

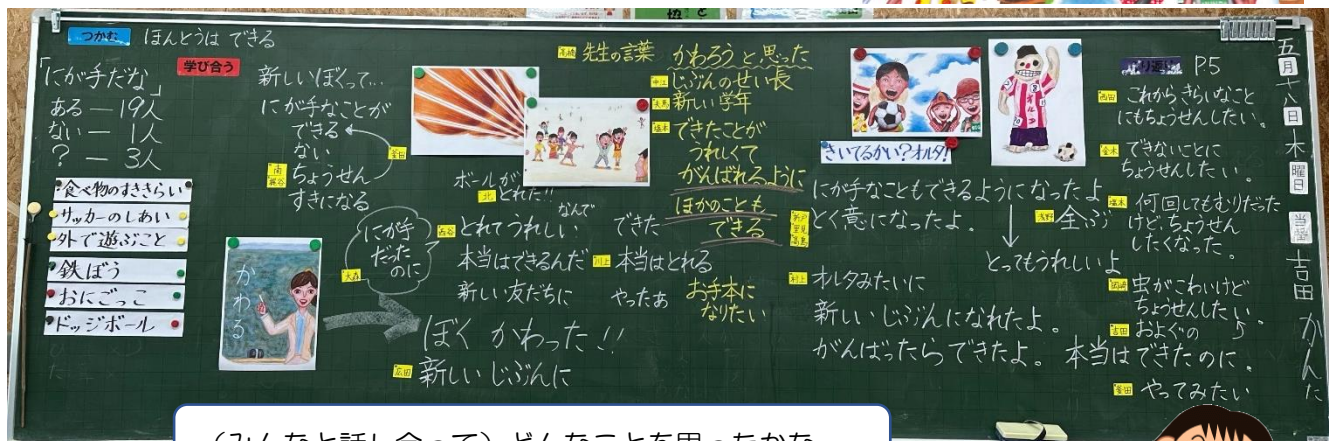
《ねらい》

前向きな生活をしようとして自分を変えた登場人物の姿から、物事に積極的に取り組み、自分のよさを伸ばそうとする心情を育てる。



《あらすじ》

- ① 紙粘土で作った相棒オルタに、苦手なことが多い自分から新しい自分になりたいという気持ちを伝える。
- ② 春が来て、新しい学級になる。担任の先生から「みんなどんどん変わらしましょう」という話があり、自分も変わって苦手なことが多い自分から新しい自分になりたいという願いをもつ。
- ③ 休み時間に、苦手なドッジボールをすることになる。いつもボールをぶつけてくる友達も一緒にすることになり、またねられるのではと不安になる。しかし、その子の剛速球を受け止めることができた。
- ④ そのことが自信につながり、今まで苦手だったと感じていたことに前向きに取り組み、できることが増えていく。



(みんなと話し合っ) どんなことを思ったかな。



- これからできないことや嫌いなことにも挑戦したい。
- 何回も挑戦しても無理だったことも、もう一度、挑戦したくなったよ。
- プールで泳ぐことや虫を触ることがこわいけど挑戦してみよう。



誰しも苦手なことがあると思いますが、前向きに挑戦してほしいと思います。児童が「できるようになるために頑張ってみよう」「少しずつでも苦手なことを克服していこう」と考えている今のすてきな気持ちを支え、自分のよさを伸ばしていけるように支援していきたいと思います。